

令和4事業年度

決 算 報 告 書

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

国立大学法人熊本大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,225	13,820	△ 404	(注1)
施設整備費補助金	613	595	△ 17	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	791	3,367	2,576	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	19	△ 19	(注4)
自己収入	36,489	39,411	2,922	
授業料、入学料及び検定料収入	5,917	5,395	△ 521	(注5)
附属病院収入	30,208	33,604	3,396	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	364	411	47	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,622	6,276	654	(注8)
引当金取崩	—	36	36	(注9)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	845	845	(注10)
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	57,778	64,372	6,594	
支出				
業務費	48,029	49,270	1,241	
教育研究経費	18,104	17,800	△ 303	(注11)
診療経費	29,925	31,469	1,544	(注12)
施設整備費	651	614	△ 36	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	791	2,992	2,201	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,622	6,163	541	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,685	2,679	△ 5	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	57,778	61,720	3,942	
収入-支出	—	2,652	2,652	

○予算と決算の差異について

- (注1) 特殊要因運営費交付金等の翌年度への事業繰越のため、予算額に比して決算額が404百万円少額となっています。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が17百万円少額となっています。
- (注3) 新型コロナウイルス感染症関連の補助金獲得等により、予算額に比して決算額が2,576百万円多額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免交付金が375百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 事業額の見直しにより、予算額に比して決算額が19百万円少額となっております。
- (注5) 授業料徴収対象者の減に伴う授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が521百万円少額となっています。
- (注6) 病床稼働率の向上、手術件数の増及び化学療法の推進等により、予算額に比して3,396百万円多額となっています。
- (注7) 自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が47百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究費の受入増等により、予算額に比して決算額が654百万円多額となっています。
- (注9) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が36百万円多額となっています。
- (注10) 前中期目標期間繰越積立金の承認により、予算額に比して決算額が845百万円多額となっています。
- (注11) 経費節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が303百万円少額となっています。
- (注12) 材料費の増加等により、予算額に比して決算額が1,544百万円多額となっています。
- (注13) (注2) (注4) に示した理由等により、予算額に比して決算額が36百万円少額となっています。
- (注14) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,201百万円多額となっています。
- (注15) (注8) に示した理由等により、予算額に比して決算額が541百万円多額となっています。
- (注16) 利息の変更等により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。